

公 告

次のとおり**総合評価落札決定方式・共同企業体方式**による条件付一般競争入札を執行するので、庄原市条件付一般競争入札実施要綱第6条の規定により公告する。

令和3年6月8日

庄原市長 木山 耕三

記

1. 入札物件

庄原市民会館・庄原自治振興センター大規模改修工事＜庄原市西本町二丁目地内＞

予定価格 ￥1,740,849,000-（税抜）

工 期 庄原市議会議決の日から 令和5年3月31日まで

※本案件においては最低制限価格を設定し、最低制限価格未満の入札をした者は失格とする。なおこの価格は開札まで非公開とし、開札後に公表する。

最低制限価格の算出式は下記のとおりとし、この式によって算出された価格が上記予定価格の85%～92%の範囲内となれば、その価格に決定する。この範囲内とならない場合は、範囲内となるよう価格を調整後、決定する。

算出式：直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×55%

なお最低制限価格の設定における具体的な事項については、「庄原市が実施する条件付一般競争入札に参加する際の注意事項」に記載しているので、よく参照のうえ入札に取り組むこと。

2. 施工の方式

本工事は、特定建設工事共同企業体（以下「共同企業体」という。）による共同施工方式とする。なおこの条件については、つぎのとおりとする。

- （1）共同企業体の構成員数は2とし、その組合せは、「3. 共同企業体における構成員の資格要件」に掲げる資格要件をすべて満たす者の組合せとする。
- （2）構成員の出資比率の最小限度は30%以上とし、代表者の出資比率は50%を超えるものとする。
- （3）共同企業体の結成は、各構成員の自由意志による任意の結成方法とする。
- （4）共同企業体を結成した構成員は、この工事において他の共同企業体の構成員となることはできないこととする。

3. 共同企業体における構成員の資格要件

（1）代表者の資格要件

- ①庄原市における建設工事の入札参加資格を有すること
- ②建築工事業について、本社または契約権限を有する支店・営業所等を広島県内に有すること
- ③直近の経営事項審査結果通知書において、建築一式工事の総合評定値が850点以上であること
なお、庄原市内に本社を有する者は、令和2年度庄原市建設工事入札参加者名簿に記載されている建築工事のランクがその他の構成員の建築工事のランクより同位以上であること。同位の場合は、出資比率が最大であること
- ④建築工事において、特定建設業の許可を有すること
- ⑤平成23年4月1日以降において、「国土交通省告示第15号、業務報酬基準（設計料算定基準）別添2 建築物の用途等による類別 2から12に該当する建築物」（本公告文末にある別紙資料を参照のこと。）に示す種別の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の施工実績（新築、改築、増築または改修に限る。なお、延べ面積は問わない。）を元請として有していること。（共同企業体としての施工実績は、出資比率30%以上のものに限る。）

(2) その他の構成員の資格要件

令和2年度庄原市建設工事入札参加者名簿（建築工事）に記載されているランクがAまたはBであること

4. 入札に参加できる者の条件

次の事項のいずれにも該当する者であること。

- (1) 構成員において、「2. 施工の方式」、「3. 共同企業体における構成員の資格要件」に定める事項をすべて満たしていること
- (2) 構成員において、庄原市内に本社を有する者については、令和2年度庄原市建設工事入札参加者名簿（建築工事）に記載されている建築工事の平均完成工事高（令和2年7月1日付通知の入札参加資格等認定通知書による）、庄原市外に本社を有する者については、直近の経営事項審査結果通知書における建築一式工事の平均完成工事高において、企業体構成員の工事高の合計金額が本件の予定価格（消費税抜）以上あること
- (3) 本案件の入札参加資格申請期限までに、いずれの構成員においても庄原市税（事業者における法人市民税・固定資産税・軽自動車税、法人代表者個人における市県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税、法人としての市県民税の特別徴収分）の滞納がないこと
- (4) 対象工事の公告日から開札日までの間のいずれの日において、いずれの構成員においても庄原市建設業者指名除外基準要綱（平成17年庄原市告示第131号）または広島県建設業者等指名除外要綱の各規定による指名除外を受けていないこと
加えていずれの構成員においても建設業法（第28条第3項または第5項）の規定による営業停止処分を受けていないこと
- (5) その他庄原市条件付一般競争入札実施要綱第3条の規定による
…「庄原市が実施する条件付一般競争入札に参加する際の注意事項」内の、＜入札に参加するための資格について＞を参照してください。

5. 入札の執行方法

電子入札システムによる。なお書面による参加は、電子入札システムの利用登録をしている者においてパソコン機器等の不具合が起こる等、止むを得ない事情がある場合のみに認める。
電子入札システムの利用登録をしていない者の入札参加は認めない。

6. 落札者の決定

本件は、入札時に技術資料の提出を受け、庄原市契約規則第32条の規定に基づいて決定された予定価格の範囲内で最低制限価格以上の入札をした者のうち、入札価格と価格以外の要素を総合的に評価して、最も評価の高い者（以下「評価値の最も高い者」という。）を落札者とする。

評価値の最も高い者が2以上あるときは、電子入札システムにおける電子くじにより落札者を決定する。

入札に参加するために必要な資格のない者のした入札は、無効とする。

7. 入札参加申請時に必要とする書類

提出資料	様式	記載及び内容に関する留意事項
特定建設工事共同企業体協定書	様式第1号	3部提出すること。書類を確認後、1部を市にて受領し、残り（代表者、他の構成員所有分）は返却する。 本書面は、袋とじすること。
委任状	様式第2号	1部提出すること。
電子メールアドレス届出書	様式第3号	代表者と書類の授受を行う電子メールアドレスについて、1つのみ記すこと。

提出資料	様式	記載及び内容に関する留意事項
建築物の施工実績を証明する書類 →平成23年4月1日以降において、「国土交通省告示第15号、業務報酬基準（設計料算定基準）別添2 建築物の用途等による類別2から12に該当する建築物」（※詳細は本公告文末にある別紙資料を参照のこと）に示す種別の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の施工実績（新築、改築、増築または改修に限る。なお、共同企業体としての施工実績は、出資比率30%以上のものに限る。）を示す書類	—	代表者分のみ1部（1工事分）提出すること。 （書類の例）…コリンズの竣工時カルテ、自治体が発行する施工実績証明等 なお本書面により、「3. 共同企業体における構成員の資格要件」ならびに「10. 総合評価に関する事項」における入札参加者の施工実績を判定する。
直近の経営事項審査結果通知書の写し	—	代表者分のみ1部提出すること。 ※庄原市内に本社を有する場合は提出の必要はありません。
「4. 入札に参加できる者の条件」の（3）に示している内容を庄原市が調査することについて同意する「市税等納税調査承諾書」	様式第4号	代表者分のみ1部提出すること。 ※庄原市内に本社を有する場合または本件の公告日までに他の入札等において、庄原市へこの書面を提出したことがある場合は、提出の必要はありません。

※様式ファイルについては、庄原市ホームページにおいて本公告文書をアップロードしているページ内に掲載している。

8. 入札書提出時に必要とする技術資料等

提出資料	様式	記載及び内容に関する留意事項
1. 近隣に対する騒音・振動・安全対策について、環境条件に配慮した提案	様式第6号	本工事における近隣に対する騒音・振動・安全対策について、環境条件に配慮した「提案内容」、「提案理由」、「実施方法」を適切かつ明確に示すこと。
2. 地域に精通した企業力の活用について	工事費内訳書（任意の様式）をベースとして作成	本工事における部分ごとの工事の施工予定者（社）の計画を可能な限り精査・検討し、具体的に記載すること。 この記し方としては、本工事における工事費内訳書をベースとして（様式は任意とする。）、各部分工事を施工する者（業者）の予定を明記し、下記①、②、③において「積算工事金額（直接工事費ベース）」、「全体工事額に占める割合」を集計して明記すること。 ① 直接自社において施工する工事 ② 庄原市内に本社を置く業者において施工する工事 ③ ①、②以外の工事
3. 工事費内訳書（任意の様式）	任意の様式	内訳書に記載した金額と入札書の金額は一致させること。一致しない場合は、入札を無効とする。 なお、工事内訳書を提出しない者は、入札に参加することができない。

＜提出書類の体裁について＞

「1. 近隣に対する騒音・振動・安全対策について、環境条件に配慮した提案」の書類については、下記のとおり書類の枚数・サイズ制限、文字サイズの制限を行い、これを遵守しない場合は、技術評価点から5点を減点するので注意すること。

- ・ 提案書類の枚数…上限を1枚とする。(両面印刷不可)
- ・ 書類のサイズ…A4 (様式第6号を用いること)
- ・ 文字サイズ…10.5ポイント以上

※様式ファイルについては、庄原市ホームページにおいて本公告文書をアップロードしているページ内に掲載している。

9. 入札の日程等

	日時等	注意事項
入札参加申請	令和3年6月8日(火)～ 6月23日(水) 9:00～16:00	電子入札システムにて、共同企業体の代表者が参加申請をすること。 なお参加申請時には、「7. 入札参加申請時に必要とする書類」で示した書類を、庄原市役所総務部管財課に持参すること。(提出は共同企業体のいずれかの者からであれば良い。) 電子入札システムによる参加申請と書類の提出のどちらが先になっても構わないが、これらは可能な限り同日に行うこと。
入札参加資格 審査結果通知	令和3年6月28日(月) 9:00～16:00	電子入札システムによって、共同企業体の代表者に通知する。 なお左記に示す日程より早く通知する場合がある。
仕様書閲覧 日時	令和3年6月8日(火) 公告開始時間より	下記「※仕様書の閲覧について」を参照のこと
質疑書の提出	令和3年6月28日(月) ～7月1日(木) 9:00～16:00	本件において入札参加資格を認めた者のうち、質疑がある者は、共同企業体の代表者より左記の期限までに電子メール(※メールアドレスは公告文書末に記載)にて質疑書(様式第5号)を提出すること。 なお質疑書の提出がない場合は、質疑がないものとみなし、質疑がない場合は提出の必要はない。
質疑回答	令和3年7月5日(月) 9:00～16:00	全入札参加者より提出された質疑をすべてとりまとめ、本件において入札参加資格を認めたすべての者について、それぞれ共同企業体の代表者に対し電子メールにて質疑回答書を送付する。
入札 日時等	令和3年7月20日(火) …9:00～17:00 7月21日(水) …9:00～16:00	電子入札システムによる。 入札時に、「8. 入札書提出時に必要とする技術資料等」で示した書類について、「工事費内訳書」以外は、入札と同じタイミングで電子メールにて送付するか、またはその紙書類を持参すること。(注意:電子入札システムから提出しないこと。) 「工事費内訳書」については、電子入札システムから提出すること。
開札 日時等	令和3年7月26日(月) 9:00～9:30	電子入札システムによる。開札段階では、まだ落札者は決定せず、入札を保留した状態とする。
総合評価 評価点審査	令和3年7月26日(月) 以降	提出された提案書等により、評価点の審査を行う。

	日時等	注意事項
落札決定	令和3年7月27日(火)以降	電子入札システムにより共同企業体の代表者に開札結果を通知する。また開札結果は庄原市ホームページに公表する。 なお左記に示す日程より早く決定する場合がある。

※仕様書の閲覧について

(1) 仕様書の閲覧方法

仕様書のデータファイル(PDF形式)を、閲覧者に受け渡すことにより仕様書閲覧とする。

仕様書の閲覧を希望する者は500MB以上の容量を有した、一切ファイルの入っていないUSBメモリを庄原市総務部管財課まで持参すること。希望者には、総務部管財課において仕様書データ(PDF形式)をそのUSBメモリにコピーし、渡すこととする。

なお持参するUSBメモリについては、希望者において確実にウイルスチェックをし、ウイルスに感染していないUSBメモリを持参すること。

(2) 仕様書の閲覧ができる者

「3. 共同企業体における構成員の資格要件」において、代表者またはその他の構成員の要件に示す条件を満たす者とする。

この条件に該当しない者には、仕様書データは配付しない。

10. 総合評価に関する事項

(1) 入札の評価に関する基準

次の評価項目について各評価基準に基づき加点する。

	項目	評価内容	評価基準		
			項目	配点	満点
1	施工実績 (代表者)	平成23年4月1日以降において、「国土交通省告示第15号、業務報酬基準(設計料算定基準)別添2 建築物の用途等による類別2から12に該当する建築物」(※詳細は本公告文末にある別紙資料を参照のこと)に示す種別の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の元請での施工実績(新築、改築、増築または改修に限る。なお、共同企業体としての施工実績は出資比率30%以上のものに限る。)に応じて加点する。	延べ面積 5,100㎡以上	4	4
			延べ面積 2,550㎡以上 5,100㎡未満	2	
			延べ面積 2,550㎡未満	0	
2	施工上の留意点について	近隣に対する騒音・振動・安全対策について、環境条件に配慮した提案を求め、内容に応じて加点する。	方策、実施方法について、適切かつ明確に示されている。	4	4
			方策、実施方法について、適切に示されている。	2	
			方策、実施方法について示されているが、あいまいである。	0	

	項目	評価内容	評価基準		
			項目	配点	満点
3	地域に精通した企業力の活用について	地域特性を熟知した者の施工が工事品質の確保につながるという観点より、各工事において自社施工に加え、「庄原市内に本社を置く者の施工割合」を評価し、加点する。	全工事額(直接工事費ベース)において、自社にて直接施工もしくは庄原市内に本社を置く業者を下請けとして実施する工事費の割合(以下「本割合」という。))が、30%以上である。	4	4
			本割合が15%以上30%未満である。	2	
			本割合が15%未満である。	0	
計				12点満点	

(2) 総合評価の方法

総合評価は、価格以外の要素における評価項目ごとの得点(加算点)と標準点(基礎点)を合計した点数(技術評価点)を、当該入札者の入札価格で除して算出した数値(評価値)をもって行なう。

なお、標準点(基礎点)は100点とし、加算点の最高得点は12点とする。

技術評価点：標準点(基礎点)＋加算点(価格以外の評価点の合計点)

評価値：技術評価点÷当該入札者の入札価格(税抜き、億円単位)

(3) 技術資料等の評価

提出された技術資料等の審査・評価については、前記(1)の「入札の評価に関する基準」に基づき行うが、次の場合は入札を無効とし、審査・評価の対象としない。

- ・技術資料等がまったく提出されていない場合

(4) 提案内容の担保

総合評価において請負人が提案した事項については、確実にこれをすべて履行する必要があり、もし請負人の責任により、この内容を満たす施工が行われなかった場合は、再度の施工又は修補を行うこと。再度の施工又は修補が行われなかった場合は、契約金額の減額又は損害賠償の請求、また契約違反として取扱う場合がある。

したがって、技術資料への記載内容については十分な検討を行ったうえで記載し、検査時には適切な履行を行った事実が確認できるものを提示できるよう準備すること。

1.1. 入札保証金 免除

1.2. 契約保証金 要

1.3. 支払条件 前払金：各年度出来高予定額の40%以内とする
部分払：有(3回を上限とする)
ただし、令和3年度の支払額は、989,832千円(消費税額及び地方消費税額を含む。)を限度とする。

1.4. 工事担当課 本庁 環境建設部 都市整備課 建築係(連絡先：0824-73-1151)

15. そ の 他

- (1) 本件においては落札者と当初仮契約を締結し、「庄原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」(平成 17 年庄原市条例第 226 号) 第 2 条の規定による庄原市議会(※)の議決を経たとき、これを本契約とする。
※現在 9 月定例会(令和 3 年 9 月)を予定している。
- (2) 本件入札は庄原市契約規則、庄原市建設工事執行規則、庄原市条件付一般競争入札実施要綱及び庄原市電子入札実施要領の規定による。
- (3) 本件は工事の品質確保、向上を図り、工事目的物の性能の向上、長寿命化・維持管理費の縮減・施工不良の未然防止等による統合的なコスト縮減を図ることを目的とし、総合評価落札決定方式による。
- (4) 条件付一般競争入札のトップページ等にある「庄原市が実施する条件付一般競争入札に参加する際の注意事項」を参照した上で本件に取り組むこと。

入札に関する問合せ先：庄原市 総務部 管財課 契約係
(質疑書送付先) tel:0824-73-1203(直通) fax:0824-72-3322
 e-mail:keiyaku@city.shobara.lg.jp

(別紙資料)

国土交通省告示第15号、業務報酬基準（設計料算定基準）別添2 建築物の用途等による類別 2
から12に該当する建築物

	建築物の用途等	
	第1類（標準的なもの）	第2類（複雑な設計等を必要とするもの）
2 生産施設	組立工場等	化学工場、薬品工場、食品工場、特殊設備を付帯する工場等
3 運動施設	体育館、武道館、スポーツジム等	屋内プール、スタジアム等
4 業務施設	事務所等	銀行、本社ビル、庁舎等
5 商業施設	店舗、料理店、スーパーマーケット等	百貨店、ショッピングセンター、ショールーム等
6 共同住宅	公営住宅、社宅、賃貸共同住宅、寄宿舎等	分譲共同住宅等
7 教育施設	幼稚園、小学校、中学校、高等学校等	－
8 専門的教育・研究施設	大学、専門学校等	大学（実験施設等を有するもの）、専門学校（実験施設等を有するもの）、研究所等
9 宿泊施設	ホテル、旅館等	ホテル（宴会場等を有するもの）、保養所等
10 医療施設	病院、診療所等	総合病院等
11 福祉・厚生施設	保育園、老人ホーム、老人保健施設、リハビリセンター等	多機能福祉施設等
12 文化・交流・公益施設	公民館、集会場、コミュニティセンター等	映画館、劇場、美術館、博物館、図書館、研修所、警察署、消防署等